



若い季節

NO.91

令和7年11月発行

〒520-0044 大津市京町四丁目3番28号 滋賀県厚生会館内

未来にはばたく青少年の健全育成をすすめる民間団体

滋賀県青少年育成県民会議

中学生広場「私の思い 2025」



閉会あいさつ



発表者と中学生実行委員



表彰式



受付



岸本副知事と語ろう会



高島市内6中学校の特色ある取組について

「滋賀県民総あいさつ運動」顕彰者表彰



滋賀県民総あいさつ運動顕彰者取組事例発表

青少年育成団体関係者等 交流研修会



非行防止・環境浄化対策連絡会議



講話
県警本部生活安全部
少年課長 江川 征己 様

講演
県警本部生活安全部少年課
大津少年サポートセンター
課長補佐 寺本 敏子 様

吉内 雅子 様



喜多 一朗 様



講演
「子どもと関わる大人のための
包括的性教育」
～被害者にも加害者にも
傍観者にもならないために～
おやこひろば桜梅桃李
代表 柳谷 和美 様



講演
県教育委員会事務局
幼小中教育課 児童生徒室
室長 北村 将 様

主な内容

- 滋賀県第28回中学生広場「私の思い 2025」 2
- 中学生広場 最優秀賞、優秀賞の発表意見文 3
- 「あいさつ運動感謝状」受賞者一覧 6
- 市から町から（湖南市・竜王町） 7
- 青少年育成団体関係者交流研修会、非行防止・環境浄化対策連絡会議 8
- 滋賀県青少年育成市町民会議一覧 9
- 正会員（団体）紹介、滋賀県青少年育成県民会議入会のお願い 10

8月23日（土）に、滋賀県第28回中学生広場「私の思い2025」県広場を開催しました。今年度の県広場には岸本副知事にも来賓としてご出席いただきました。今年度は、県内99校、24,774人の中学生から意見作文の応募があり、その中から選ばれた代表の12名の皆さんのお見発表とともに、高島市の中学生実行委員の皆さんを中心とした運営がなされ、進行や案内など様々な場面で、中学生の活躍する様子が見られました。

また、活動発表は、高島市内6中学校の発表でした。地域とのつながりを大切にした活動や、高島市の将来を見すえた学習など、6中学校の特色ある取組をわかりやすく説明されました。

意見発表の審査結果は、下表のとおりです。



意見発表者と授与者の皆さん



長井 四季さん



金 芸琳さん



鍋谷 彩華さん



今井 柏那さん



落川 温心さん



柳川 純生さん



中島 杏奈さん



藤関 心春さん



東川 紗音さん



本多すみれさん



墨 柚希さん



高畠 心美さん

審査結果

(敬称略・優良賞は県広場の発表順)

賞	学校名	学年	発表者	題名
最優秀賞(滋賀県知事賞)	栗東市立栗東西中学校	3	長井 四季	自分らしく生きる
優秀賞(滋賀県議会議長賞)	栗東市立栗東中学校	3	金 芸琳	母国に誇りを持とう
優秀賞(滋賀県教育長賞)	近江八幡市立八幡中学校	1	鍋谷 彩華	ありがとう
優良賞(県民会議会長賞)	長浜市立北中学校	3	今井 柏那	近江商人の思いを伝える
	高島市立マキノ中学校	3	落川 温心	決断するために
	大津市立瀬田北中学校	3	柳川 純生	日本の米作り「今」と「これから」
	近江八幡市立安土中学校	3	中島 杏奈	私の一番身近で、一番のライバル
	東近江市立愛東中学校	3	藤関 心春	私の一步、地域の一步
	長浜市立びわ中学校	3	東川 紗音	少しの勇気
	長浜市立木之本中学校	3	本多すみれ	美しく貴重な今を生きる
	彦根市立東中学校	3	墨 柚希	「私」の音楽
	大津市立皇子山中学校	2	高畠 心美	空気を読めない私



自分らしく生きる

栗東市立栗東西中学校 3年 長井四季

最優秀賞
(知事賞)

私たちの周りには、コンビニ弁当と手作り弁当が存在する。私はそう気づきました。

話し合いの場で、自分の意見を言いにくい雰囲気になったことはないでしょうか。誰もが一度は経験したことがあるでしょう。ではなぜ、自分の思いが言えなくなってしまうのでしょうか。

コンビニ弁当の工場では、マニュアルにしたがって不良品を排除する取り組みが行われています。色味が違ったり形が崩れたりしているおかずはポイッと取り除かれてしまいます。つまり、完成したお弁当は全て同一になります。

そして、私たち日本人も、このようになってしまっていることが多いのです。ここまで「え?」と思っているあなた。あなたもコンビニ弁当かもしれません。あるいは、規格外のものを取り除く人かもしれません。もちろん私も含めてです。

国語の問題集で読んだ文章に、こんなことが書かれていました。日本では集団の調和を乱さないことが美德とされるため、日本人は同調圧力が非常に高いのだそうです。その理由は、「和」を重んじる昔ながらの文化や、島国であるという地理的条件などが考えられるそうです。私はこの文章を読んで、とても納得できました。私たちは日頃、「みんな同じ」という状態にすることで安心しているのではないかでしょうか。

私は普段、お団子ヘアか1つくりにして学校に行っています。なぜなら楽だからです。勉強中や部活のときに邪魔にならず、朝のヘアセットも短時間で済ませることができます。しかし、みんなみたいに可愛い髪型をしたいと思う気持ちも少しありました。そんなとき、インスタグラムで見つけたのが「カチモリヘア」という髪型です。当時韓国で流行っていた、お団子ヘアに近い髪型です。とても気に入ったので、カチモリヘアをして学校に行ってみました。勉強や部活においていつも通り不便はありませんでした。おまけに鏡に映る自分の髪を見て、トイレでニヤけてしま

います。しばらくこの髪型で過ごそうかなと思っていました。そのとき、友達に声をかけられました。「髪型、変なことになってるよ。」と。「変」と言われました。私を思って言ってくれたのか、イヤミなのか。そんなことを考えることもなく、ガツンと頭を殴られたような強いショックを受けました。私は苦笑いしかできませんでした。

このことは、全て同じ見た目、同じ味だから安心して食べられるコンビニ弁当と同じような気がします。「みんな同じ」髪型にして安心している人々は、集団から外されたり、否定されたりすることを恐れているでしょう。同時に、自分の本心も排除している人もいるかもしれません。そして、きっと私も知らず知らずのうちに周りを気にしていたのでしょう。

一方で、手作り弁当の世界はそうではありません。手作りだから、色もサイズも形も同じものは1つとではありません。だからこそ、温かさが感じられます。

私は、そういう世界を作るために、まずは自分の意見をはっきりと口にすることが大切だと感じました。一人ひとりが明確な意思を持ち、それを伝え合うことが大切なのだと思います。英会話の授業で「イエスかノーかをはっきりしなさい。」と言われるのもまさしくのことでしょう。私は髪型についての経験を通して、私たちの生活の中で、同調圧力が強く働いていることや、自分がそれに対して息苦しさを感じていることに気づくことができました。ただ、今の私には、ただ「気づく」ことしかできません。私はとても優柔不断です。いつも「なんでもいい」と言って親や友達を困らせてします。明確な意思がありなく、周りに左右されがちです。そんな私だからこそ、自分らしい意思を持ちたい。思いをぶつけたい。自分の芯を持ちたい。そう思います。

いつか「みんな同じ」という呪縛から解放されて、誰もが自分らしく生きられる世の中になってほしいと私は思っています。



母国に誇りを持とう

栗東市立栗東中学校 3年 金 芸琳

優秀賞
(議長賞)

「まじで中国、衛生観念無さすぎて無理。」「あんな国どこがいいの。」「まじで中国人、母国に帰れよ。」インターネットに書かれていた言葉。それは私には関係ないはずなのに、私の心をぎゅっとしめた。

私は小学2年生の時に中国から日本に移住してきた中国人である。中国には地域によって全く違う文化や話し方があり、面白くて優しい人も沢山いるため、私は中国が好きである。小学生の頃は中国人であることを特に意識せず、楽しく過ごしていた。

私は中学生になり、自然にSNSなどに関わるようになった。はじめは、自分の母国に何一つマイナスな感情をもっていなかった。しかし、ある日中国のことについての動画がおすすめに流れてきた。そのコメント欄に私は言葉を失った。そこには中国や中国人を批判する人が大量にいたのである。とても悲しかった。自分の母国はこんなにも悪いイメージを持たれていたのか。そのことに気づいてしまった私はただただ胸が苦しかった。私はそっとスマホの電源を消した。

どの国にも良い面と悪い面がある。こんな素敵な日本でも、地震が多くて危ないという悪い面があるように、良い面があれば、必ず悪い面があるので。後はその悪い面をどう捉えるか、良い面をどのように捉えるかで話は変わる。きっとひどいコメントをする人達は中国の良い面をあまり見ずに悪い面ばかりを見ているのだろう。私がコメントを見て悲しかった理由はきっとそこにある。中国に行ってもいない人達から勝手に悪い面ばかり見られていたのが悲しかったのだ。中国にも良い面が沢山ある。中国に行ってもないのに、ペチャクチャと本当かどうか怪しい悪い面ばかりを書き込むのが許せなくて、腹立たしかった。せめて、そういうのは中国に行ってから言ってほしいものだ。

このようなことで簡単に腹が立ったり、悲しくなりたりするあたり、やっぱり私は中国が好きなのだと改

めて思った。誰かに何かひどいことを言われようが、私は自分の母国に自信と誇りを持って生きていきたい。私だけでなく、それぞれが自分の国に自信と誇りを持って、それが認め合える世界であってほしい。

最後にこれだけは伝えたい。SNSのコメント欄だ。なぜ、わざわざそこに悪いことを書き込むのか。そして、なぜ、一人が何か悪いことを書き込むと他の人も一斉に書き込むのか疑問に思う。コメントとは感想や助言を伝えるものだ。それなのに相手が傷つくコメントや迷惑コメントばかりをするのは、正しい使い方ではないと思う。現実ではそんなことも言えないくせに、顔が見えていないからといってひどいコメントをするのはとても残念である。過去にはそれにより傷付き命を落とした人もいたのに、まだまだこのような問題があるのでとても残念だ。わざわざコメントをする時間があるなら、他のことに時間を使ってもっと良いことをすべきだと私は思う。このようなことがずっとおきてしまうのであれば、いっそのことコメント欄を消した方がいいと思う。もし、コメントでストレス発散をしているのならば、枕を殴ってストレス発散する方法に変えてほしい。

インターネット上では、ささいな言葉でも相手の捉え方によっては大きな問題になる。きっとそのような言葉が重なった結果、私の母国の欠点が大きく見られてしまったのだろう。もしかしたら、他の国も同じような被害にあっているのかもしれない。インターネット上的一部のコメントを見て判断するのではなく、是非実際にやってみて、良い面と悪い面を沢山見た上で判断してほしい。そうしたらきっと、誰もが自分の母国に誇りを持てる日が来る。

私は生まれ育った中国も、今暮らしている日本も大好きだ。これから的生活の中でそれぞれの国の大い所を沢山見つけ、伝えていきたい。批判ではなく美しい言葉で国を語り、誰もが自分の国に誇りを持てる世界を作っていくたい。



ありがとう

近江八幡市立八幡中学校 1年 鍋 谷 彩 華



みなさん、一日に何回「ありがとう」と言いますか。言われますか。私は、障がい者なので、だれかに手伝ってもらわないと、何もできません。そのため、私は、「ありがとう」とよく言います。「ありがとう」を言うことは大切だと思います。なぜなら、感謝し、感謝されることが素敵だなと思うからです。でも、ときどきふと思うのです。どうしたら、私も「ありがとう。」と言われるのか。だれかの役に立てるのか……。ある経験からこのように感じました。

私は毎年、夏休みに障がい者が参加するキャンプを行っています。そこでは、ボランティアさんが一人一人参加者についてくれます。私のように様々な障がいのある人がキャンプを楽しめるようにするために、私にしてくれた人も、とても熱心で、とてもよい人でした。そして当然、私と母と父は、その人に「ありがとう」をたくさん言います。その時の父と母とボランティアさんのやり取りが、いいなと思いました。人から感謝されて、たくさん「ありがとう」と言われるのは、とてもうれしいことだと思うからです。

このような体験を通して、考えたことがあります。「ありがとう」は、言う人も言われる人もそれなりの心があり、そしてその心があるからこそ、言った人は笑顔になって、言われた人はうれしい、温かい気持ちになるということです。

では、その心とは何なのか。私は、「ありがとう」の場面によって、様々だと思います。

例えば、消しゴムが落ちたとき、だれかが拾ってくれたなら、拾ってくれた心の「ありがとう」。病気でおられた時、命を救ってくれたなら、命を救ってくれた心の「ありがとう」。私が言いたい「ありがとう」の心は、言葉としての重みです。もちろん、ほかの言葉全て大切ですし、心もあります。ただ、「ありがとう」はとくに、心を感じられるすてきない言葉だと私は思いました。世界中の人たちが、「ありがとう」を言い、「ありがとう」を言われる、「ありがとう」であふれる星、地球になってほしいと思います。

そのために、何ができるでしょうか。「ありがとう」と言わせたいのなら、困っている人を助けたり、相手がしてほしいことをしたりすればいいでしょう。ですが、それでは「ありがとう」が欲しいだけで、心がないまま終わってしまいます。どの言葉も同じですが、言葉は心もともなわなければ、重みのないしんだ言葉になってしまいます。「ありがとう」と言わされることも大切ですが、「ありがとう」は感謝を伝える言葉です。「ありがとう」を増やすには、まず私が小さなことも感謝すればいいのです。別に、言う相手が人でなくてもいいのです。いつも私たちを明るく照らしてくれる太陽、ほかにも様々な自然、命のめぐみ、魚や動物、もちろん、生きている自分へでも、何でも感謝することは、たくさんあります。

重みのある「ありがとう」を世界中に広められるように、私は何にでも感謝して、「ありがとう」とたくさん言う人になります。私はずっと自分の力だけでは、だれの役にも立てないと思っていました。でも、私が誰かに「ありがとう」と言うと、救われる人もいると、母が教えてくれました。だから、私は、みんなは、人を救う力を持っています!そして、人と人が救いあう、平和な世界を「ありがとう」で作ろうと思います。まず、身近でお世話になっている家族や先生、友だち、ヘルパーさんにもっと「ありがとう」を伝えます。

令和6年度滋賀県民総あいさつ運動顕彰者一覧 (敬称略・順不同)

令和7年度総会（5月20日）の席上、長年にわたりあいさつ運動に取り組んでおられる下記の7名と6団体の皆様に滋賀県青少年育成県民会議児玉会長から感謝状を授与させていただきました。

顕彰者（団体）名	活動内容	顕彰者（団体）名	活動内容
仰木の里学区 青少年育成学区民会議 (大津市)	仰木の里学区青少年育成学区民会議は、27年にわたり青少年を非行から守る環境づくりや豊かな心をはぐくむ事業等の青少年の健全育成活動を行っている。なかでも、あいさつ運動は、毎月第2水曜に学区民会議のメンバーが通学路交差点、小学校の校門前などの10か所に立ち、子どもたちに声掛けをしている。	河西学区民生委員 児童委員協議会 (守山市)	あいさつ運動としては、年2回各学校園の門の前に立ち行われているが、1年間をとおして毎日（土・日曜日、長期休校日除く）、児童や生徒の登下校時の見守り活動、防犯活動として各地域で活動している。この活動は、長く続けており、毎日、子どもの顔を見て、子どもの様子がわかり、委員のやりがいにつながる活動となっている。
中川 丈夫 (彦根市)	「子ども安全リーダー」や「おうみ通学路交通アドバイザー」などとして、通学路の安全確保や交通安全の啓発等に尽力した。また、平成20年より学区の小学校のスクールガードとして長年にわたり活動し、毎朝、通学路や交差点に立ち、「おはよう」の声かけをしながら、登校する子どもたちの安全を見守り続けてきた。	村川 さゑ (栗東市)	約16年前孫が小学校に通い始めた頃、朝の登校時に集合場所から横断歩道のない幹線道路を横断して登校するのが危険と思われ当地域の児童の登校時の見守りを始めた。この幹線道路は朝の通学時には100台近くの車両が通行し見守りがないと危険な場所である。孫が卒業しても横断の見守りを現在に至るまで毎日続けている。
岩崎 修 (長浜市)	こほりっ子応援隊として、除草作業や田植え、草刈りボランティア等学校の教育活動の多岐にわたり協力している。見守りボランティアでは、孫が卒業した後も継続して、雨の日も風の日も毎日通学路に立ち、地域の子どもたちに声をかけている。子どもたちも温かい朝のあいさつに元気をもらい、笑顔での登校につながっている。	南井 章裕 (野洲市)	12年間にわたり三上小学校のスクールガードを務めるとともに、「おうみ通学路アドバイザー」としてスクールガードのリーダー的な役割を担ってきた。毎朝、通学路に立ち、子どもたちの登校の様子を見守るとともに声かけをおこなったり、子どもといっしょに歩いたりして、地域の子どもたちのために日常的に取り組んでいる。
木之本 少年補導委員会 (長浜市)	管内のJR5駅をローターションしながら毎週水曜日の朝に、電車で通学・通勤する高校生や一般の方々を対象にあいさつ運動を実施している。また、ブロック活動の一環として、毎月1回から学期に1~2回程度小学校の校門に立ち、登校する児童へのあいさつ運動、あるいは下校する児童へのあいさつ運動を実施している。	下田青少年育成 学区民会議 (湖南市)	平成25年6月から毎週月曜日に「あいさつ運動」の実施を始め、現在も継続している。地域の大人が広く「あいさつ運動」に関わり、かつ負担が少なく長く続けられる方法として毎年度当番表を作成している。また、多くの人が参加していることから、地域内で子どもたちに声かけをして見守っている大人が多いという周知効果も大きい。
南笠東学区 青少年育成学区民会議 (草津市)	玉川学区より、分離して南笠東学区青少年育成学区民会議が発足した平成12年より地域の青少年の健全育成と子どもたちが安全に育つ環境を守るために、「愛の声かけパトロール・あいさつ声かけ運動」を各町内会からの委員とともに、各年度の6月からほぼ毎週1回、年間30回実施してきた。	湖南市補導委員会 日枝中学校区 (湖南市)	10年以上にわたり日枝中学校の「日枝の坂道」において、登校してくる生徒に、大人から子どもたちに一声をかける「朝の声かけ運動」をして取組を継続している。地域の方々から生徒へのあいさつや励ましの声かけは、生徒たちからのあいさつも引き出し、元気に安定した気持ちで一日を始めることにもつながっている。
奥村 正綱 (守山市)	毎日、小学生の登下校時に挨拶（声掛け）をとおして、安全安心して通学できるように見守りと交通整理を9年間、登下校時に継続して活動している。町内住民から活動に対する感謝の声が寄せられるとともに、地域における各組織活動の要職を歴任し人望も厚い。	富江 和清 (東近江市)	平成15年から現在に至る22年間、天候に関わらず毎朝、能登川北小学校の全校児童とあいさつを交わしている。こうした地道な取組は、児童だけでなく、地域の方々にも「あいさつ」の大切さを伝えている。また、子どもたちの交通安全の確保に繋がっているとともに、子どもたちへの温かい声かけにより、元気をも与えている。
田中 三千子 (守山市)	平成29年ごろより、自主的に毎日、通学路（横断箇所）で小学校および中・高校生の登校時間帯に挨拶を交わし、周辺道路事情により安全に登校できるように見守り活動を行い、明るい一日の始まりと事故が起こらないように活動している。これらの自主的な行動は、町民の見本となっている。		



市から 町から

「連携力」で子どもたちを育む!

湖南市青少年育成市民会議

湖南市青少年育成市民会議は、市民会議・学区民会議・地域と各団体が連携して子どもたちが安心・安全に暮らし、将来に夢と希望を持って心身ともに健やかにたくましく成長することを私たちの願いとして活動しています。

●街頭啓発

7月の強調月間に合わせて市内の大型店舗で一斉に、街頭啓発を実施しています。

●広報紙「育み」

年2回発行しています。7月は市民会議と各学区民会議の活動予定を、1月は「青春祭（あおはるさい）」のようすを届けています。

●各青少年育成学区民会議の活動

市内に8つある青少年育成学区民会議は、地域の子どもたちと大人をつなぐような事業（おばけ大会、防災キャンプ、ハリキリンピック、夏休み学習教室など）を考え実施しています。また、「巡回活動」を重点的に取り組む、「あいさつ運動」を頑張るなど地域の実情に合わせて活動しています。

●青春祭（あおはるさい）「湖南市青少年育成大会」

中学生が実行委員となり、企画・運営しています。令和7年度はステージ看板の作成のほかオリジナルタオルを作りました。市内の企業とのコラボも実現しました。ボランティア団体に依頼してフォトスポットもあります。また、「ステージに上がるのは青少年（40歳未満）だけという湖南市方式により、来賓・主催者のあいさつもありませんが、皆さん納得してくださり、ステージを温かく見守り・応援してくださいます。



子どもたちの健やかな成長を願って

竜王町青少年育成町民会議

竜王町青少年育成町民会議では、子どもたちが健やかで心豊かに成長することを願って「たくましく育てよう竜王っ子」をスローガンに、関係機関・団体あるいは地域の方々と連携しながら主に以下の活動をしております。

※少年の主張竜王町大会

去る7月5日、第39回少年の主張竜王町大会を開催いたしました。小学5・6年生および中学生539名から作文を応募いただき、そこから選ばれた14名の発表者が、爽やかに力強く自分の思いを訴え、多くの方々に感動を与えてくれました。



※環境浄化活動

7月と11月に町内の店舗の巡回パトロールとトンネル、道路壁、ガードレール等の落書き点検をし、見つかった際にはすぐに消去しています。



※朝のあいさつ運動

毎月1回、こども園、小・中学校の登校時に町民会議役員の他、少年補導員やPTA役員の皆さんと一緒に、さらに登校してきた子どもたちも加わり、賑やかで明るい朝のひと時となっています。



※ありがとう作文の募集

平成26年度より小学生を対象に募集を始め、昨年度は町内小学校の全児童591名から応募をいただきました。入賞作文を選出後、町内全戸に配布している当広報誌「青少年育成」に掲載しています。

※広報誌「青少年育成」の発行

当会議の活動紹介や青少年健全育成啓発の為、年2回発行し、町内全戸に配布しています。



青少年育成団体関係者交流研修会

令和7年度滋賀県青少年育成団体関係者交流研修会を5月20日(火)の午後に、滋賀県庁新館7階において開催しました。この研修会は、青少年育成市町民会議および関係機関・団体等の役職員が一堂に会して講演、事例発表や情報交換を通して地域活動の一層の推進を図ろうとするものです。

今年も、「滋賀県民総あいさつ運動」を最重点課題として取り組んでいます。その事例発表と青少年育成に関わる私たちにとって、これから次代を担う青少年を育成する上で心がけなくてはいけないことについて研修会が開催されました。

あいさつ運動顕彰者による事例発表

【事例発表①】

「地域の大人たちが見守る子どもの笑顔～木之本少年補導委員会あいさつ運動～」

吉内 雅子 様 (木之本少年補導委員会【長浜市】)

【事例発表②】

「～自宅から学校への橋渡し～ 地域ぐるみのあいさつ運動」

喜多 一朗 様 (下田青少年育成学区民会議【湖南市】)

講 演

子どもと関わる大人のための包括的性教育～被害者にも加害者にも傍観者にもならないために～ おやこひろば桜梅桃李 代表 柳谷 和美 様

柳谷和美さんの講演では、自らの壮絶な性虐待体験を乗り越えたうえで語られる言葉のひとつひとつに、参加者一同胸を打たれましたことと思います。涙腺とした語り口にもかかわらず、その背景にある深い痛みと、それを糧にして次世代に伝えようとする強い意志を感じられました。

性教育は単なる知識の伝達にとどまらず、被害を防ぎ、被害者を早期に支えるセーフティネットなのだと改めて認識させられました。とくに「性=タブー」「年齢や立場によって話してはいけない」という日本社会の暗黙の了解が、被害者を孤立させ続ける構造を生んでいることに気づかれるなど、「包括的性教育」の必要性への理解が深まった講演でした。

「青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間」推進事業 非行防止・環境浄化対策連絡会議

6月30日(月)に、滋賀県庁新館7階大会議室にて、令和7年度非行防止・環境浄化対策連絡会議を開催しました。本会議は、「青少年非行・被害防止滋賀県強調月間」推進事業の一環として実施しています。

●講話 「県内の少年犯罪の現状について」

滋賀県警察本部生活安全部 少年課長 江川 征己 様

滋賀県の少年非行の情勢とともに、特にSNS等に起因する事犯について詳しくご説明いただきました。県内での特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の被害額の合計が年間27億円を超えており、闇バイトの中には暴力団への上納システムの一つとなり、少年が無理やりやらされている現状があることなどをお話しいただきました。また、小中高生がオンラインゲームをしているうちに、知らない人間に親近感を持ち、さらにアイテムなどを得るために高額課金をしてしまうケースがあることも教えていただきました。

●講演 「県警少年サポートセンターにおける立ち直り支援を通じて」

滋賀県警察本部生活安全部少年課 大津少年サポートセンター 課長補佐 寺元 敏子 様

少年サポートセンターの「継続補導」と「継続支援」の取り組みを詳しく説明していただきました。そして、「ACE」についてとその影響、「PCE」についてと保護要因の大切さを学ばせていただきました。私たち青少年の健全育成運動に関わるものとして、ACEを経験している人が身近にいるという前提で適切なかかわりが持てるように心がけたいと思います。今後の活動の参考にさせていただく貴重な機会となりました。

●講演 「生徒指導上の諸課題への対応について」

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課 児童生徒室 室長 北村 将 様

国や県の資料データにより、暴力行為・いじめ・不登校の状況について、また「非社会的」行動の増加の現状、スマホ・SNSが与える影響をわかりやすくお話しいただきました。「困った子ども」は同時に「困っている子ども」であること、子どもが信頼できる大人にSOSを出せる環境を整えることの大切さなどを学ばせていただきました。

滋賀県青少年育成市町民会議一覧

滋賀県では19市町それぞれに青少年育成市町民会議が組織されています。そこでは、青少年の健全育成の活動をしています。お問い合わせは下記にお願いします。(令和7年10月31日現在)

青少年育成市町会議名	市町民会議会長	所 在 地		電話番号	FAX番号
		〒	住 所	E-mail	
大津市青少年育成市民会議	服部 和平	520-8575	大津市御陵町3-1 こども未来部 こども・若者政策課内	077-528-2706	077-528-2792 otsu1488@city.otsu.lg.jp
彦根市青少年育成市民会議	門野 明	522-0041	彦根市平田町670 彦根市こども家庭部 こども若者支援課内	0749-49-2251	0749-26-1768 kowaka@ma.city.hikone.shiga.jp
長浜市青少年育成市民会議	堀川 佳孝	526-8501	長浜市八幡東町632 市民協働部 生涯学習課内	0749-65-6552	0749-64-0396 s-ikusei@city.nagahama.lg.jp
近江八幡市青少年育成市民会議	柳生 強	523-8501	近江八幡市桜宮町236 教育委員会事務局 生涯学習課内	0748-36-5533	0748-36-5565 045000@city.omihachiman.lg.jp
草津市青少年育成市民会議	藤居 朋寛	525-0032	草津市大路二丁目1-35 キラリ工草津3階 草津市立少年センター内	077-562-5560	077-567-0557 syonen@city.kusatsu.lg.jp
守山市青少年育成市民会議	山本 繁二	524-8585	守山市吉身二丁目5-22 教育委員会事務局 社会教育・文化振興課内	077-582-1142	077-582-9441 shakaikyoiku@city.moriyama.lg.jp
栗東市青少年育成市民会議	朽木 徳壽	520-3015	栗東市安養寺三丁目1-1 学習支援センター内	077-551-0145	077-552-5544 syogaigakusyu@city.ritto.lg.jp
甲賀市青少年育成市民会議	西村 久	528-8502	甲賀市水口町水口6053 教育委員会事務局 社会教育スポーツ課内	0748-69-2248	0748-69-2293 koka30104500@city.koka.lg.jp
野洲市青少年育成市民会議	三村 益夫	520-2331	野洲市小篠原1780 野洲市人権センター2階	077-587-6053	077-587-3835 syougai@city.yasu.lg.jp
湖南市青少年育成市民会議	井上 明保	520-3195	湖南市石部中央一丁目1-1 教育委員会事務局 教育支援課内	0748-77-6250	0748-77-6253 kyouikushien@city.shiga-konan.lg.jp
高島市青少年育成市民会議	杉嶋 郁夫	520-1592	高島市新旭町北畠565 教育委員会事務局 社会教育課内	0740-25-8565	0740-25-8145 syakyo@city.takashima.lg.jp
東近江市青少年育成市民会議	野瀬 隆行	527-8527	東近江市八日市緑町10-5 教育委員会事務局 生涯学習課内	0748-24-5672	0748-24-1375 syogaika@city.higashioomi.lg.jp
米原市青少年育成市民会議	谷本 政信	521-8501	米原市米原1016 くらし支援部 子育て支援課内	0749-53-5131	0749-53-5128 kosodate@city.maibara.lg.jp
日野町青少年育成町民会議	安藤 宜保	529-1698	蒲生郡日野町河原一丁目1 教育委員会事務局 生涯学習課内	0748-52-6566	0748-52-4665 kik-syogai@town.shiga-hino.lg.jp
竜王町青少年育成町民会議	白井 磯治	520-2552	蒲生郡竜王町小口276-1 竜王町公民館内	0748-58-1005	0748-58-1979 kouminkan@town.ryuoh.shiga.jp
愛荘町青少年育成町民会議	西村 育郎	529-1380	愛知郡愛荘町愛知川72 教育委員会事務局 生涯学習課内	0749-42-8015	0749-42-8014 syogaku@town.aisho.lg.jp
豊郷町青少年育成町民会議	野村 栄	529-1161	犬上郡豊郷町四十九院1252 豊栄のさと内	0749-35-8010	0749-35-8021 syakaikyouiku@town.toyosato.shiga.jp
こうらスマイルネット	北川 勝	522-0244	犬上郡甲良町在土353-1 教育委員会事務局 社会教育課内	0749-38-3315	0749-38-4336 kyoui@town.koura.lg.jp
多賀町青少年育成町民会議	松宮 千津子	522-0352	犬上郡多賀町久徳160-2 多賀町中央公民館 「多賀結いの森」内	0749-48-8130	0749-48-2363 kouminkan@town.taga.lg.jp

正会員(団体)の紹介 (敬称略)

- 各市町青少年育成市町民会議（19市町）
- 団体（45団体）
 - 一般社団法人ガールスカウト滋賀県連盟
 - 滋賀県更生保護女性連盟
 - 滋賀県高等学校等生徒指導協議会
 - 滋賀県高等学校長協会
 - 滋賀県公立高等学校 PTA 連合会
 - 公益財団法人滋賀県国際協会
 - 滋賀県国公立幼稚園・こども園長会
 - 滋賀県子ども会連合会
 - 滋賀県市長会
 - 滋賀県社会教育委員連絡協議会
 - 社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会
 - 滋賀県小学校長会
 - 滋賀県少年補導員会連絡協議会
 - 滋賀県書店商業組合
 - 滋賀県私立中学高等学校連合会
 - 滋賀県私立幼稚園・認定こども園協会
 - 滋賀県青少年教化協議会
 - 滋賀県青少年補導センター連絡協議会
 - 滋賀県青少年赤十字指導者協議会
 - 滋賀県青年国際交流機構
 - 滋賀県青年団体連合会
 - 滋賀県スポーツ推進委員協議会
 - 公益財団法人滋賀県スポーツ協会（滋賀県スポーツ少年団）

- 滋賀県地域女性団体連合会
- 滋賀県中学校長会
- 滋賀県町村会
- 滋賀県町村教育委員会連絡協議会
- 滋賀県都市教育委員会連絡協議会
- 滋賀県都市教育長会
- 滋賀県PTA連絡協議会
- 滋賀県BBS連盟
- 一般社団法人滋賀県保育協議会
- 滋賀県保護司会連合会
- 公益社団法人滋賀県防犯協会
- 社会福祉法人滋賀県母子福祉のぞみ会
- 滋賀県民生委員児童委員協議会連合会
- 滋賀県モラロジー協議会
- 滋賀県レクリエーション協会
- 一般財団法人滋賀県老人クラブ連合会
- 十社会
- 生活衛生同業組合滋賀県興行協会
- 青少年育成アドバイザー滋賀の会
- 一般財団法人天智聖徳文教財団
- 公益社団法人日本青年会議所近畿地区滋賀ブロック協議会
- 日本ボーイスカウト滋賀連盟

明日の滋賀県民を育てるために

滋賀県青少年育成県民会議入会のお願い

次代を担う青少年の健全な育成を促すために、広く県民の総意を結集するのが滋賀県青少年育成県民会議の目的の一つです。これまで多くの方々に会員として参加いただき、あすの滋賀県を担う青少年の健全育成のための運動を展開してまいりました。

今後、さらにこの運動の拡充・強化に努め、県民総ぐるみで青少年の健全育成運動を推進していきたいと考えております。当県民会議の趣旨に賛同していただける団体・青少年育成に関心をお持ちの個人等、多くの方々が賛助会員として、ぜひご入会くださいますようお願いいたします。

入会の申込みについて

賛助会員（年会費）	①個人	3,000円以上
	②団体（企業）	一口 5,000円（2口以上）

賛助会員には、県民会議の機関紙「若い季節」等をお配りして、県民会議の活動情報をお知らせしています。

会費の活用について

会員の方からいただいた会費は、県民会議の自主財源として、青少年の健全育成に関わる各種事業や啓発資料の作成、配布、機関紙の発行等とともに、各地域の青少年育成連絡協議会の活動助成、青少年や青少年育成指導者等の顕彰に使われていただいているいます。

入会の申込みについて

入会申し込みは隨時受け付けています。賛助会員として入会いただける方は、当県民会議事務局へ電話、FAXまたは電子メールでご連絡ください。

お問い合わせ

滋賀県青少年育成県民会議事務局

〒520-0044 大津市京町四丁目3番28号 滋賀県厚生会館内
 TEL 077-523-5484 FAX 077-526-7331
 E-mail ikuseiken@ex.bw.dream.jp